

令和8年度 大町南部小学校 経営構想（案）

学校教育目標 **学び続ける子ども**

教育理念
子どもに開かれた学校づくり
めざす教師像 子どもに耳を傾け、子どもの「やりたい」から始める教師
めざす学校像 授業を根幹とする学校

《学校づくりのねらい》

「子どもに開かれた学校づくり」を貫き、「協働の学び」を軸とした授業と、「プロジェクト活動」の実践を通して、探究する力を高め、よりよく生きるために学び続ける子どもを育成する。

めざす児童像

- ・ 自他を大切にする子ども
- ・ 自分で決めて、挑戦する子ども

教育課題

学び合いの質的向上

（重点1 学びづくり）

・ 子どもが挑戦したくなる「問い」の開発と「きく・つなぐ・もどす」を意識した協働の学びの評価と指導の推進。



（重点2 関係づくり）

・ 子どもが目標を決め、計画・協働・実践し、振り返るというプロセスからなるプロジェクト活動の推進。

《 教育システム 》

学び続ける子どもへと導く学習システム

- ◇ 大町北部小、大町中と「協働の学び」でつなぐ小中一貫カリキュラム
- ◇ 教科横断的な教育課程編成（地域との連携・協働、プロジェクト活動など）
- ◇ 教師の専門性を生かした教科担任制や授業交換

地域との協働システム

- ◇ 地域の願いを大切にした、学校運営に関わる学校運営協議会との協働
- ◇ 総合的な学習や教科学習における探究活動での「社」・「常盤」両地域との協働
- ◇ 児童支援に関わる専門機関等との協働

職員の研修システム

- ◇ 「働きがい」・「自己課題探究」のための LC 学習会、外部指導者との授業づくり研修
- ◇ 「働きがい」・「児童と向き合う時間」のための日課や時間割の工夫